

建設 石木ダム

「水需要予測の根拠不明」

地権者側が市に説明要求

県と佐世保市が川棚町に計画している石木ダム建設事業に関し、反対する地権者や弁護団が出した佐世保市に対する公開質問状への

回答を巡る地権者側と市との交渉が14日、市役所で行われた。地権者側は「水需要予測の根拠が不明」と市

に訴えた。地権者側は質問状で、水需要の予測への、客観的な数値に基づく建設理由を求めたが、市からの回答はなかった。地権者側は「私たちの犠牲の上でも水が必要というのだから、具体的資料と数字で納得いく

説明をするべきだ」と主張した。「1994年の大濁水を二度と繰り返さないため」とダム建設へ理解を求める市側に対し、地権者側は交渉で、同規模の濁水時の水量不足の状況などについて尋ねたが、市側は回答しな

かった。また、工場用水の最大需要先である佐世保重工業の水道使用量予測について、地権者側は「需要急増の根拠が不明」などと指摘した。地権者側は再度、質問状に対する回答と、4月11日の再交渉を求めた。



市側に具体的な回答を迫る地権者や支援者、弁護団

1/15

根拠の数字など
データ示さず

石木ダム公開質問状
佐世保市長に抗議

県と佐世保市が計画している石木ダム建設事業を巡り、反対地権者や弁護団ら約50人が

14日、市水道局を訪れ、朝長則男市長宛てに先月提出した公開質問状に対する市の回答について「根拠となるデータや数字が書かれていない」と抗議した。馬奈木昭雄弁護団長は、市が「今後不足す

る」と予測した水需要について「主張の根拠をデータと数字で示して説明するべきだ」と批判。市水道局の谷本薫治局長は「濁水を起こさないためにダム建設以外の方法はない」と述べるにとどめた。